

**【発明の名称】** マーケティング用データベースエンジン

**【発明者】** 【氏名】砂田 向壺

**【課題】** 広告主などが広告・調査・イベントなどに対する消費者の反応を、ネットワークを用いてリアルタイムで確認できるデータベースエンジンを提供する。

**【要約】** **【解決手段】** 携帯電話を含むユーザーからの情報を受け取る入力サーバと、分析結果をクライアントに出力する出力サーバと、クライアント及びサーバの情報を格納するクライアントサーバデータベースと、前記ユーザーからの情報を格納するメンバーデータベースと、前記入力サーバからの情報を前記メンバーデータベースに格納させ、前記メンバーデータベースに基づき分析を行うとともに、前記出力サーバへ分析結果を出力するデータベースサーバと、を備える。

#### **【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 携帯電話を含むユーザーからの情報を受け取る入力サーバと、分析結果をクライアントに出力する出力サーバと、クライアント及びサーバの情報を格納するクライアントサーバデータベースと、前記ユーザーからの情報を格納するメンバーデータベースと、前記入力サーバからの情報を前記メンバーデータベースに格納させ、前記メンバーデータベースに基づき分析を行うとともに、前記出力サーバへ分析結果を出力するデータベースサーバと、を備えるマーケティング用データベースエンジン。

**【請求項2】** 前記データベースサーバは、クライアントから調査の依頼を受け、アンケートを作成し、作成したアンケートをユーザーへ送り、ユーザーからアンケートの回答を受け、集計及び分析を行い、その結果をクライアントに通知し、謝礼情報を作成し、ユーザーに謝礼を通知することを特徴とする請求項1記載のマーケティング用データベースエンジン。

#### **【発明の詳細な説明】【0001】**

**【発明の属する技術分野】** この発明は、コミュニケーションデータベースを利用してマーケティングを行うためのデータベースエンジンに関する。特に、携帯電話によりマーケティングを「安価で」「手軽に」「スピーディに」行うものに関する。

【0002】

【従 来の技術】現在、広告・調査・イベントなど(以下、広告などとする)の方法としてはテレビ、新聞、雑誌、屋外電光板、インターネットなどを利用することが一般的である。これらの場合、広告主などは上記の各種の媒体を通じた広告に対する消費者の反応を確認できる方法としては、特定の設問調査などを通じてその 反応を確認する方法を使用しており、またテレビドラマなどの視聴率を調査する方法としては各種の視聴率調査の装置などを用いることが一般的である。

【0003】また、最近インターネットを利用した広告方法が活性化されウェブサイト上にバナー広告などを揚げ、消費者がクリックする回数によって広告費を支払う方法が活用される、あるいはそのサイトの会員数に基づいて広告料を決定する方法等が一般化されている。

【0004】 上記のような広告方法では、広告主などは多くの費用をかけて広告をしているが、その広告に対する消費者らの反応をリアルタイムに確認し、その広告を見る消費者らの消費パターン、又は性向についてリアルタイムに把握できれば、より多くの費用を広告などに投資できるようになるので、消費者の反応をリアルタイム に確認できるシステム及び方法が要求されてきた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記の従来技術の問題点を解決するためのものであり、本発明の目的は広告主などが広告・調査・イベントなどに対する消費者の反応を、ネットワークを用いてリアルタイムで確認できるデータベースエンジンを提供することにある。

【0006】

【課 題を解決するための手段】この発明は、携帯電話を含むユーザーからの情報を受け取る入力サーバと、分析結果をクライアントに出力する出力サーバと、クライアント及びサーバの情報を格納するクライアントサーバデータベースと、前記ユーザーからの情報を格納するメンバーデータベースと、前記入力サーバからの情報を前記メンバーデータベースに格納させ、前記メンバーデータベースに基づき分析を行うとともに、前記出力サーバへ分析結果を出力するデータベースサーバと、を備える。

【0007】好ましくは、前記データベースサーバは、クライアントから調査の依頼を受け、アンケートを作成し、作成したアンケート をユーザーへ送り、ユーザーからアンケートの回答を受け、集計及び分析を行い、その結果をクライアントに通知し、謝礼情報を作成し、ユーザーに謝礼を通知 する。

【0008】この発明に係るシステム／方法は、コミュニケーションデータベースを利用して「平均」「確率」「分布」「相関」「推定」「検 定」を求めることにより、マーケティ

ングを行うためのものである。特に、携帯電話の普及によりマーケティングを「安価で」「手軽に」「スピーディに」行うためのものである。本システム／方法は、モバイルマーケティングとデータベースマーケティングを融合して、企業や団体のマーケティングを総合的に支援するサービスを提供する。

【0009】特に、モバイルマーケティングは、携帯電話が一人一台であることからワントウワンのマーケティングが可能であり、場所を選ばず、いつでもアプローチ可能で、しかも安価である、という特徴がある。

【0010】また、データベースマーケティングは、質の高いサービスを提供し、顧客獲得、顧客維持が可能であり、ニーズに合ったターゲット顧客を抽出することができ、時間とコストを削減し、企業内のデータやノウハウをナレッジデータベースとして蓄積、共有できる、という特徴がある。

【0011】

【発明の実施の形態】図1はこの発明の実施の形態に係るシステムの全体を示す。図1において、1は本システム、2は本システムの調査対象となるユーザー、3は本システムのサービスを受けるクライアント、4はクライアントからの情報(例えば、携帯電話で撮影された画像など)を受けて掲示する各種メディア(これには例えば街頭に設置される大型のディスプレイ(ビジョン)が含まれる)、5はシステム1、ユーザー2、クライアント3を相互に接続するネットワークである。システム1は、ユーザー2からの情報を受けるとともに、各種メディア4へ情報を送る入力サーバ、ユーザー3に情報を送る出力サーバ12、データベースエンジンであるデータベースサーバ13、クライアント及びサーバの情報を格納するクライアントサーバプール(テーブル)14、及び、登録メンバーのデータベースプール(テーブル)15を備える。

【0012】図2はこのシステム／方法により提供されるサービスの概略を示す。図2について簡単に説明を加える。

【0013】S1:市場調査(本システムのリアルタイム・モバイル・サーベイ機能)  
速く簡単にリサーチを実施し、結果をリアルタイムに見ることが出来る。リサーチ結果や基本属性はデータベースに蓄積される。

S2:戦略・企画(同、プランニング支援コンサルティング機能)

S3:販促宣伝(同、E-mail配信機能、DM、広告配信機能)

リサーチ結果やデータベース情報を元にしたワントウワンターゲット配信を行うことによって、より効果の高い販促宣伝を行うことが可能である。

S4:販売(同、Eコマース支援)

S5:売上分析・顧客分析(同、集計・分析機能)

販売結果に対してデータマイニングを行う際の集計・分析ツールである。GUIを追

求することで、今までマーケティング担当者しか扱えなかった複雑なソフトを楽しく、直感的にかつ視覚的に操作することが可能になった。また、クロス集計やグラフ表示を手軽に行える。

【0014】図3はこのシステム／方法の処理フローチャートである。図3について簡単に説明を加える。

S10: クライアントがサーバに対して調査依頼を送る。ASPの場合、自らアンケートの作成、対象ユーザーの抽出、アンケート配信を実行できる。

S11: アンケートを作成する。アンケートとして、商品企画・意識調査等の一般的なアンケート、街頭媒体などについての媒体(メディア)調査、コンサート、スポーツ等のイベント調査がある。

S12: アンケートをユーザーに送る。調査対象者は、例えば、予めデータベースに登録された者、クライアントのデータベースに登録された者、通行人等の一般の者を含む。

【0015】S13: ユーザーからアンケートの回答を受ける。

S14: アンケートの回答を集計し分析を行う。特に、このシステム／方法によれば、クロス集計をリアルタイムで実行できる。例えば、データのグループ間の関係を示す「相関」、一部のデータから全体を推測する「推定」、ある仮説が正しいかどうかを判定する「検定」を実行できる。

S15: クライアントへ結果を通知する。WEB上であればリアルタイムの結果を得ることができる。結果はGUIの追求により直感的にグラフ表示可能である。

S16: 「ユーザーデータ」「アンケートデータ」「調査結果データ」をサーバに格納する。

S17: 謝礼情報を作成する。例えば、登録ユーザーとしての得点を与える、有料のサービスの一部を無料で受ける、などである。

S18: 謝礼を通知する。

【0016】このシステム／方法は、スクリーニング機能、回収サンプル設定、サンプル回収自動ストップ、多重クロス集計の各機能を備える。

スクリーニング: データのふるい分け。チェックボタンのON/OFFで簡単に期間・性別・年齢・住所・職業・年収のカテゴリーに該当するデータのみを抽出できる。

サンプル設定: 有効回答(=サンプル)の設定。

サンプル回収設定: 回収サンプルの数の設定。これによりクライアントはサンプルの集まりすぎによる予算オーバーを防ぐことができる。

多重クロス集計: X軸、Y軸のクロス集計に加え、前出のスクリーニング機能を追加することで、二次元以上のクロス集計が可能となった。

【0017】このシステムによればパソコンや携帯電話の利用者で構成される各種

コミュニティについて各種分析を行うことができる。各種コミュニティは、個人を数万、十 万、百万等の単位で含むグループである。この種のグループは何らかの関心を共通にし、いわば関心共同体を形成している。この関心共同体の根幹部分に存在する個々の属性を明瞭にするエンジン部分に本システムを持たせることで、関心共同体の姿、形をコミュニティとして、明らかにすることが可能になる。

【0018】 いわゆる着メロの関心共同体を例にとると、これまで単に好きな曲を取りに行くユーザーがネット上を通過して通信料をキャリアに支払う構図に過ぎなかったビジネスが、そのコミュニティのユーザー数を新聞や出版の発行部数に例えると、巨大な媒体として見る事が出来る。そのコミュニティに本発明のシステム(DBエンジン)を搭載することで、個々の属性が瞬時に分析可能な上に、巨大な媒体として広告ビジネスおよび新たなワンツウワンビジネス等のビジネス収入を生み出すことが可能になる。

【0019】本システムは、個々の属性の評価を瞬時にクロス集計、多重クロス集計を行い多くのパターンのグラフ表示が瞬時に表示できる。GUIの追求により、試験、推計、確定、統計、ランキング等、従来複雑な重回帰分析等の処理を行うには素人ではできなかったことが、「ワンクリック」で選択ボタンを押すと、リアルタイムに見る事が可能になる。また、「関心共同体」単位属性の特性や分布も瞬時に判断できる。しかも、ASP化(全自動化)したため調査クライアントは、このソフトをライセンス契約の時点で、手元でデスクリサーチがリアルタイムに双方向で実現可能となる。

【0020】 例を挙げれば、モバイルコンテンツにエディケーション分野の「関心共同体」を仮に入れたとする。試験問題、英語検定、大学入試傾向問題等、のコンテンツで 参考勉強した結果、そのテスト結果がモバイルユーザー、試験、塾産業クライアント双方で瞬時にランキング表示可能になる。

【0021】さらに「関心共同体」の同種分布の特性によっては、同じコミュニティを共有化できるDBエンジンとして、個々のDB属性を共有できる。例えば、リクルート業と、スキルアップ支援業、塾・試験産業、アパート業、引越し業、金融業、家具レンタル業、音楽配信業、画像配信業、ゲーム配信業等を相互互換性を持たせるDBエンジンとしているため、これら個々の「関心共同体」にプロトコルを持たせ、コンソーシアム編成することで、まったく新しいメガ媒体編成が出来る。当該メガ媒体への広告出稿は、代理店あるいはクライアントが直接オークションでASPモデル(全自動化)からクレジットで参加すると同時にモバイルユーザーは、当該コンソーシアムの中でワンストップ・コマースが可能になる。

【0022】本システムにより、図2に示すような、リサーチー>プランー>プロモーションー>コマースー>データマイニングの循環が一連作業として、リアルタイムに

行えるようになった。

【0023】本発明は、以上の実施の形態に限定されることなく、特許請求の範囲に記載された発明の範囲内で、種々の変更が可能であり、それらも本発明の範囲内に包含されるものであることは言うまでもない。

【0024】また、本明細書において、手段とは必ずしも物理的手段を意味するものではなく、各手段の機能が、ソフトウェアによって実現される場合も包含する。さらに、一つの手段の機能が、二つ以上の物理的手段により実現されても、若しくは、二つ以上の手段の機能が、一つの物理的手段により実現されてもよい。

**【出願人】**                   **【識別番号】**500139785  
                                  **【氏名又は名称】**砂田 向壹

**【出願日】**                   平成13年6月26日(2001. 6. 26)

**【代理人】**

**【公開番号】**               特開2003-6406(P2003-6406A)

**【公開日】**                平成15年1月10日(2003. 1. 10)

**【出願番号】**               特願2001-193615(P2001-193615)

•

- [A 生活必需品](#)
- [B 処理操作 運輸](#)
- [C 化学 冶金](#)
- [D 繊維 紙](#)
- [E 固定構造物](#)
- [F 機械工学 照明 加熱 武器 爆破](#)
- [G 物理学](#)

- [H 電気](#)

[Blog](#) @2007 All Right